

令和7年度 「花卉の概況」

本州産の切花は、台風の影響は、ほぼ無かったものの作付け量が減少傾向です。
また、正月商材の松、千両、贈答で需要のあったシンビジュームの引合いが年々減少傾向です。

花卉概況担当 丸果旭川青果卸売市場 常務取締役 引地紀夫（花卉部直通48-3237）

主品目	主力産地	前年対比		市況予想（1本単価）	概 況
		入荷量	市況		
輪菊	愛知、静岡、鹿児島	並	並	150～80	中旬以降上位等級を中心に減少傾向、市況も上昇予想です。
小菊	沖縄	並	並	70～40	予約相対品中心の入荷見込み。出荷は潤沢の予想です。
カーネーション	愛知、コロンビア	並	並	100～70	国内産は天候の影響で減少傾向。輸入品は前年並みで推移します。
バラ	愛知、エクアドル	並	安	250～150	人気の赤系を中心に需要高まる。月末に向けて単価上昇見込みです。
百合類	宮崎、四国、新潟	少	高	450～280	入荷量は前年より減。市況は前年より単価高で推移します。
トルコ桔梗	静岡、福岡、台湾	並	並	400～250	台湾産の入荷が減少傾向です。
若松	茨城	並	安	140～60	入荷量は前年並みですが価格は2割程単価安見込みです。
千両	茨城	並	安	600～150	生産量は前年並で単価は引合いも弱く2割安見込みです。
シクラメン	伊達、札幌	減	安	1500～700	前年に引き続き生産量減少。消費低迷から弱含みです。
ポインセチア	帯広、札幌	減	並	1000～600	道内産地注文対応中心。入荷減少傾向も市況は昨年並みです。
シンビジューム	静岡、秋田	減	並	3500～1500	志向の変化から引き合い弱い。市況前年並み見込みです。